

Gサイエンス学会議(S7)2026 開催結果 概要

開催概要



Science summit for the G7 2026

日時: 令和8年5月17日(日)~19日(火)
場所: フランス・パリ

参加アカデミー

日本学術会議
フランス科学アカデミー
全米科学アカデミー
英国王立協会

レオポルディーナ科学アカデミー
リンチェイ国立科学アカデミー
カナダ王立協会科学アカデミー
他

3つの共同声明を採択

1 大規模衛星コンステレーション

2 グローバルな北極域

3 脳の健康とメンタルヘルスの推進

各共同声明テーマに関する セッション

- 各共同声明の策定に携わったフランス科学アカデミーの専門家や各分野の研究者による講演が行われた。
- その後、各国アカデミーによる最新のイニシアティブが共有された。光石会長は、各テーマに関連して日本学術会議が今後主催を検討する学術フォーラムや国際会議について発信した。



セッションで登壇・発言する光石会長

アカデミーの独立性と学問の自由に関する ラウンドテーブル・セッション

- 令和6年及び令和7年に実施した「国際アドバイザリーボード」での議論も踏まえ、日本学術会議の主導の下、各国アカデミーのトップによる率直な意見交換の場をラウンドテーブル形式で実施。
- セッションの場で、光石会長から学問の自由と独立性や研究者の保護、国際協力の重要性が提起、共有された。



ラウンドテーブル・セッションの様

マクロン仏大統領への 共同声明の手交

- 採択された3つの共同声明は、会議開催後、エリゼ宮殿においてエマニュエル・マクロン フランス共和国大統領に対して手交された。
- その後、マクロン大統領と各国アカデミー代表を交えた意見交換会が実施され、マクロン大統領からは、政策形成と科学の連携強化の重要性等について言及があった。



マクロン大統領及び各国アカデミー代表
写真提供: Mathieu Baumer / Académie des sciences